



スマホに関する衝撃的な調査結果が大学と教育委員会の共同研究で明らかになりました。

## スマホが学力を破壊する!

生徒の皆さんは2学期の期末考査が終わり、ホッととしてネットを楽しんでいませんか。

驚くことに、スマホ等を1日3時間以上使用していると、どれだけ勉強を頑張っ、きちんと寝ていたとしても、成績が上がらない現実があるようです。

東北大学加齢医学研究所が宮城県仙台市教育委員会と共同で、全仙台市立小中学生を対象とした大規模調査(「学習意欲」の科学研究に関するプロジェクト)を実施してきました。調査の結果から、スマホが子どもたちの学力を「破壊」している、そんな恐ろしい現状が明らかになりました。

東北大学加齢医学研究所では、5歳~18歳の子どもの脳をMRIで計測し、3年間の脳の発達とインターネット使用習慣との関係を調べました。その結果、インターネットを頻繁に使っていた子どもたちほど、3年間の言語能力の発達が小さく、幅広い範囲で脳の発達にも悪影響が見られました。MRIの画像からは、前頭前野をはじめ、記憶や学習に関わる海馬、言葉や感情に関係する領域などに悪影響が出ていました。どれも私たちが生きるうえで必要となる大切な機能です。そして、特に衝撃的なことは、インターネットを毎日使っている子どもたちは、脳の発達がほとんどゼロに近い数値となっていたことです。

スマホを悪のツールとすることなく、便利な道具として活用するためには、科学技術の進歩と共に人の心も進歩させていく必要があります。具体的には、前頭前野を鍛え、自己管理能力を育てるために、スマホの使い方のルールを自分で決めて実行していくことです。一人で実行できないなら、仲間と話し合

ってルールを決め、お互いに声を掛け合いながら取り組むと効果は高まります。

自分をコントロールする力をつけることは社会生活の中でとても大切な力です。

チャレンジしましょう。



校長 松川 明義

【行事予定】

- 3日(火)：球技大会
- 4日(水)：進路講演会(3年)、施設見学(E1)
- 5日(木)：壮行会
- 6日(金)：マチナカクリスタル点灯式

